

冬の学習会 話すこと聞くこと部会実践発表
5年生 国語「子ども未来科で何をする」
〈総合「SDGSリーダーになろう」〉

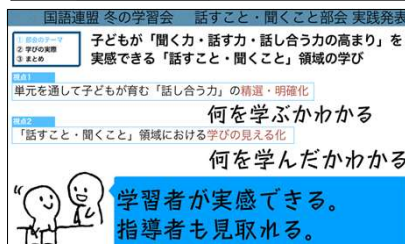
新琴似小学校 齊藤優太



今までの部会の学びの流れ



R4 冬 北村先生



R3 冬 山田先生

つながり

子ども一人一人に、個々の課題をもたせたい
公的な言葉の使い手を育てたい
「言葉」自体に視点を向かせたい

- 目標に「計画的に」とあるが、その具体をイメージできていたか
- モデル動画から問題意識を生めていたか
- 何ができているか＝資質能力を可視化できていたか

R5 冬 鈴木先生

提案内容 流れ

- 1、今までの部会の流れと授業の主張
- 2、授業の概要と実際
- 3、成果と課題、今後に向けて

授業の主張

ICTの活用限界に
挑む 比較からの
振り返り

提案内容 流れ

- 1、今までの部会の流れと授業の主張
- 2、授業の概要と実際
- 3、成果と課題、今後に向けて

授業の概要

総合 学習スタート

「SDGsリーダーになろう」

SDGsについて学ぶ → 自分たちにできることへの意識

自分たちにできること → 一人だけの取組ではあまり意味がない
広げる（伝える）必要性に

何で伝えるか → スピーチ

国語「子ども未来科で何をする」

言語活動「総合での学びをスピーチで伝えよう！」

→ スピーチの仕方、説得力を高めるコツを考える

総合での実践 → 6年生に聞いてもらう

→ 国語的なフィードバックも

スピーチで伝える意欲を高める
スピーチの発表会的にならないように
広める必要性に着目
実際にできることに目を向けて

総合
SDGsについて
自分たちにでき
ることは……

1人だけの取組
では足りない
→ 伝える必要性

スピーチで
伝えよう

国語
スピーチの仕方
説得力のある
スピーチに！

実践

授業の概要 〈単元の目標〉

国語『「子ども未来科」で何をする』

事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう

単元の目標 **スピーチとしての表現・説明文との違い**

◎知(1)イ **話し言葉と書き言葉**との違いに気付くことができる。

○知(1)カ 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。

◎思A(1)イ 話の内容が明確になるように、**事実と感想、意見とを区別**するなど、**話の構成**を考慮することができる。

○思A(1)ウ **資料を活用**するなどして、**自分の考え**が伝わるように**表現を工夫**することができる。

・主 粘り強く話の構成を考え、学習の見通しをもって提案するスピーチをしようとする態度を養う

資料を活用して根拠を強める

区別することで
主張と根拠を
明確に
効果的な構成に

授業の実際

本時授業
前時までに意識した
自身の課題に向き合う

↓
スピーチ練習

↓
振り返り

チェックポイント

- 1 構成
- 2 資料
- 3 内容

写真で様子を

授業の実際

写真で様子を

場所の分散〈5か所〉 6年生にも同じチェック内容で

授業の概要〈研究の視点との関連 実践課題案Ⅱ〉 ※資料※

実践課題案2 創造性の発揮に寄与する「学びのつながり」を意識した単元・授業づくり

- I 資質・能力ベースで捉えた単元・授業の構成の工夫
→**手本動画**を基にしたよりよい**スピーチのイメージ**
→**チェックシート**を活用してスピーチの**練習・実践**
→振り返り・改善後に行う**再スピーチ**

意識

・チェックシートの作成

実践

・意識したことを実践する場

再実践

・改善する場

- II 身に付いた力の自覚を促す、評価の在り方の工夫

→**チェックシート**を基にした**自己評価と他者評価**

→再スピーチの**自己評価と他者評価**

(同じグループメンバーで行うことで**変容**を捉えやすくする)

11

授業の概要〈研究の視点との関連 実践課題案Ⅰ〉 ※資料※

「言葉を通して、豊かな未来を創造する国語科の学び」

実践課題案1 児童生徒自らが学びの主体となるための「問い」を生み出す単元・授業づくり

- I 自ら問題発見・課題設定していくための「問い」を生むための工夫
→総合との複合単元として**スピーチテーマ**を設定
→既習の説明文等の学びから「話す聞く」との違いや共通点を探る
→日常的な1分間スピーチの取組

他教科、他単元
とのつながりから

- II 他者の言葉・テキストから「問い」を生むための工夫

→**手本動画の視聴**や**他者評価**を取り入れる。

→**チェックシート**で**点数化**（自己評価と他者評価を比較のため）

自分のスピーチの課題意識をもちやすく
（スピーチに関する既習の意識を事前に）

- III 自らの表現に対する「問い」=反省的(reflective)な「問い」を生むための工夫

→**自己評価と他者評価、自分のスピーチメモとスピーチ（文字起こし原稿）の比較**を行うことで、
スピーチに説得力をもたせられているかを見直す視点を増やす。

12

授業の主張

ICTの活用限界
どこまで使えるのか！？
その効果は！？

12

ICTの活用

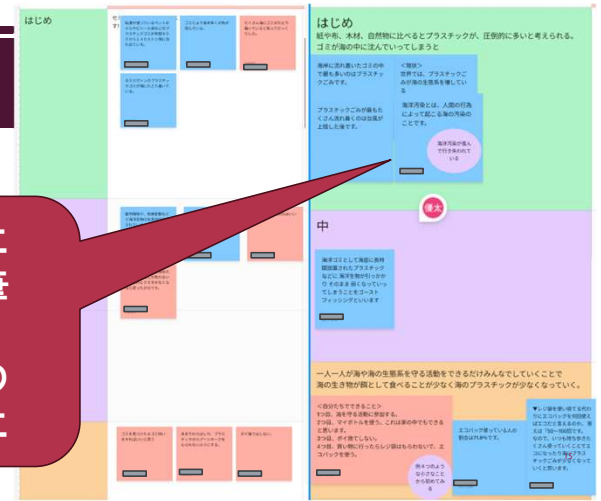
今回使用したICTのツール

- 1、教科書のモデル動画2種 → よいスピーチのイメージ作り・チェックシートの作成につなげて
- 2、Figjam (フィグジャム) → 情報整理・構成の土台作り
- 3、Classroom (クラスルーム) → 共有するためのツールとして
- 4、UDトーク → スピーチの文字起こし
- 5、カメラ機能 → スピーチを録画、振り返る資料に
- 6、スライド → 資料作成のツールとして
- 7、Forms(フォーム) → 6年生(聞き手)からのフィードバックを
- 8、スプレッドシート → 6年生の意見を集約

Figjam(フィグジャム)

練習ごとに
修正・加筆

メモからの
スピーチに

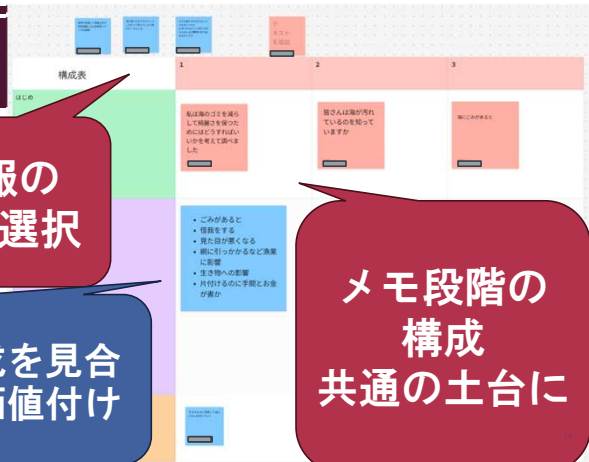


Figjam(フィグジャム) 〈構成の検討〉

情報の
取捨選択

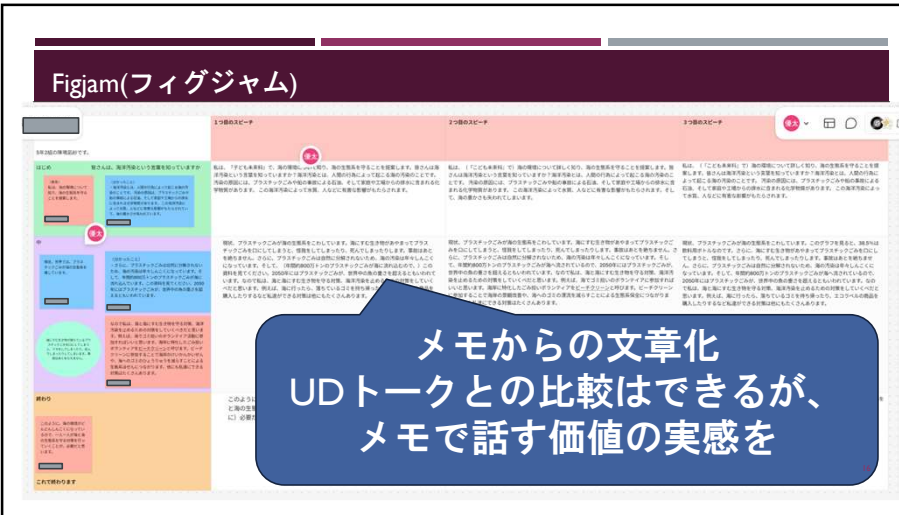
お互いの構成を見合
うことへの価値付け

メモ段階の
構成
共通の土台に

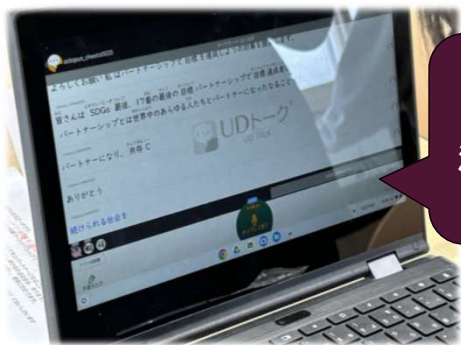


Figjam(フィグジャム)

メモからの文章化
UDトークとの比較はできるが、
メモで話す価値の実感を



UDトーク 画面



その場で文字起こし
特に次時に原稿として
活用することで力を発揮！
振り返りに活用

17

授業の主張

比較からの 振り返り

19

授業の中でのスピーチ練習

UDトークで
即時的に確認
(次時、原稿化して
振り返りに活用)



相手意識の薄さ
話し方への意識△

動画で様子を

18

振り返り

- チェックシートの活用
自己評価と他者評価
- スピーチメモ (Figjamでの構成)
⇔ UDトーク (スピーチの文字起こし)
⇔ 自分のスピーチ動画
- 6年生からのフィードバック

20

チェックシート

よりよいスピーチ チェックシート 自己評価・他者評価 (発表者)

レーダーチャートの活用
自己評価・他者評価
視覚的な比較

書く量が多い
↓
自分の特に修正した点
必要など
のみでも

紙(アナログ)のよさ

チェック1 5 点/5点
チェック2 5 点/5点
チェック3 5 点/5点
総合点 15 点/15点

スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)

スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)

チェックシート ※資料※

一枚ずつ
↓
一枚物にして比較しやすく

チェック3
内容
↓
表現
知識・技能との
つながり

書く量が多い
↓
自分の特に修正した点
必要など
のみでも

ICT (デジタル) できることでもある

スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)

スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)

チェックシート

同じチェックで比較
伸びを実感

スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)

スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)

主張を強める (理由)

資料で何を伝えたいのかを
明確に!

構成の見直し

次時 振り返りから最終練習
自己評価→他者評価の比較の効果
その後、6年生にスピーチ

スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)

スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)
スピーチの内容はよい? (聞き手や観客の感想をひく工夫は入れている?)

6年生からのフィードバック（点数とコメントで）

良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ

特に良いと思ったところは、スピーチの途中に出てきた資料です。スピーチの中で大事なこと、その資料で伝えたいことがはっきりしていて、とても良いと感じました。

解決方法や課題があって、スピーチにまとまりがあった

話のつながりがなかったから、信用性に欠けた

途中の円グラフの資料については、数値を全て読んでいるのは、何を伝えたいのかが分かりにくい。プラスチックごみが主題だから「プラスチックごみが6、5割も占めています」等の方がプラスチックごみが多い印象を与えやすい。

セリフだけ読んでいるところも改善できる点

チェック1	チェック2	チェック3	評価	チェックの点数について
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ

同じ児童の振り返り ※資料※

伸び変容の実感

スピーチ本番を終えて 振り返り

〈よりよいスピーチにするために、どのチェックポイントに対してどのように取り組んだか（対策とその効果）〉

どのチェックポイントに特に取り組んだか

チェック 3

どのように取り組み、どのようにスピーチが変わったか

より事実（現り状）をくわしく、話すことで、「今、どれだけ海が、しんこく
なのかが伝わった。この主張が、よかったです。

タブレットで、紙メモを、みながら、読みながら、こいをけ、
スピーチで、話す相手を見ることか、（ちらちらしんをみる）
本番を終えて（単元末としての学びの振り返り）
練習は、スピーチが、相手がきいても、（うんうん）
した。けれど、本番では、（うんうん）
やすい資料をくわえてよりよいスピーチができた。

自己評価 ⇔ 他者評価（6年生）

6年生のフィードバック→発表者 具体的な数値の効果についての気付きへ

声はとっても良くても資料も手書きでわかりやすいと思う
自分が思った事、資料をイラストにしてた
具体的なことが言えている＆焦点が定まっ
すごく良かった
ただ構成がくらくらしていた
初め 中 終わり をどうして話せたら完
これからのことを予測している所が良いと思いました。
もうちょっとゆっくり言えばもっと良かったと思います
僕らがけど（自分が）資料と言っていることがとてわかり易くて聞き取りやすかった
構成などはすごく良く、わかりやすいスピーチになっていたと感じました。スピーチの途中
で出てきた資料についてですが、あれは資料というか絵になっています。プラスチックごみ
が魚よりも量が多くなるということを伝えたいならば、具体的な数値を使ってどのくらい増え
ているのか、どのくらいの量なのか具体的にわかるようにすれば良いと思いました。あ
で、ゴミ拾いのボランティアをすれば良いと行っていました。実践するのが少し難しいと
感じました。
資料がタブレットで集めるのより手書きで資料を描いていたほうが聞いている側がつまら
ないと思わなかったから。

チェック1	チェック2	チェック3	評価	チェックの点数について
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ

自己評価 ⇔ 他者評価（同グループの仲間（5年生）） ※資料※

同グループの仲間（5年生）からの 他者評価

改善後の自己評価

内容を濃くするために伝える数に着目・改善

チェック1	チェック2	チェック3	評価	チェックの点数について
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ
良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ	良かったところはみんなに投げかけて発表していたところ

スピーチ本番を終えて 振り返り
〈よりよいスピーチにするために、どのチェックポイントに対してどのように取り組んだか（対策とその効果）〉
どのチェックポイントに特に取り組んだか
チェック 3
どのように取り組み、どのようにスピーチが変わったか
前のスピーチより内容を濃くするのを意識して、（うんうん）
理由をくわしくしたり、内容を濃くしないことにつ
いてくわしくしたり、たからリスコンテントの内容
が濃くなった。
本番を終えて（単元末としての学びの振り返り）
少し先ん立って話の順番が、（うんうん）
1日目は、（うんうん）
本番では、（うんうん）
この内容が、（うんうん）

同グループ（同じメンバー）に見てもらおうよき
※資料※

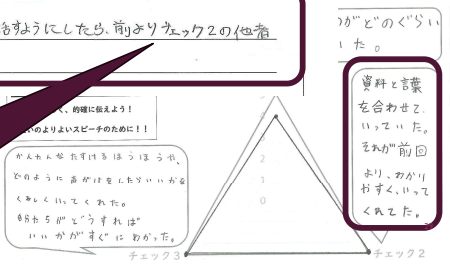
どのチェックポイントに特に取り組んだか

チェック 2

どのように取り組み、どのようにスピーチが変わったか

資料の事についてあまり言わなくて良かったが、系集習の時、話しようにしたら、前よりチェック2の(他者) 評価の点を上げてくれたが、本番と同じ練習をした。

前回と比較して点数化
よりよくなったところ
への気づき



デジタルとアナログのよさを

デジタル

- UDトーク、Figjam
- クラスルーム
- カメラ（録画）
- オクリンクプラス等
- 共同編集
- 修正のしやすさ
- 即時的な文字起こし
- シートの一斉確認
- 他者評価の伝えやすさ

アナログ

- 紙面でのチェックシート
- 紙面での原稿資料など
- 教師の見取りの即時性
- 交流時の相手意識
- 付け足しながらの交流
- 比較のしやすさ
- （一枚物、複数重ねてなど）



UDトーク（原稿化したもの）でスピーチの実際の言葉の確認と修正
※資料※

これから...のスピーチを始めます。私達が使ってるペットボトルやびが死んでいるのを知っています。私はこれを知ったとき、たくさん...
都市開発や気候変動などで海洋...
取れなくなっていたりします。その理由は取り過ぎではなく、ゴミ...
からだと思います。...
この図を見てください。...
このようにペットボトルは38.5%約38%を占めています。私はこれを知ったとき、魚の取る量を決めれば良いと思いました。理由は、魚を獲る量を決めたら、決まった量しか取れないので、魚の取りすぎがなくなると思ったからです。他にも自分たちができることはたくさんあります。ゴミ拾いや、プラスチックのホークスプーン、割り箸をもらわないようにすればいいと思います。皆さんもポイ捨てはしないでください。これで終わります。

実際に話した言葉を確認
構成の見直しにも使うことが可能

提案内容 流れ

- 1、実践した授業の概要
- 2、授業の主張と実際
- 3、成果と課題、今後に向けて

授業の主張（ICT活用）に関する成果と課題

ICTの活用

その効果は!?

■ 成果

ICTの活用でスピーチの構成、活動の見える化→比較する材料を増やすことができる
自分自身の活動が見え、「問い」を生み出す一つの手立てに!

■ 課題

UDトークなどICTのよさとデメリットになる部分への手立て
→話し方に対する意識△ ワイヤレスマイクなどがあると!?

振り返りの充実

自身の「問い」へ

UDトーク

Figjam

フォームでの
フィードバック

カメラ録画

ICTの活用

活動の見える化

研究の視点との関連〈実践課題案Ⅰ〉

実践課題案Ⅰ

児童生徒自らが学びの主体となるための「問い」を生み出す単元・授業づくり

Ⅱ 他者の言葉・テキストから「問い」を生むための工夫

手本動画の視聴や他者評価を取り入れる。

チェックリストで点数化（自己評価と他者評価を共通の視点で比較するため）

Ⅲ 自らの表現に対する「問い」=反省的(reflective)な「問い」を生むための工夫

→自己評価と他者評価、自分のスピーチメモとスピーチ（文字起こし原稿）の比較を行うことで、スピーチに説得力をもたせられているかを見直す視点を増やす。

振り返り

授業の主張（振り返り）に関する成果と課題

UDトーク

スピーチ録画

チェック
シート

他者からの
フィードバック

振り返りの充実

学びの自覚化

次への課題意識

学びを深めるための振り返りの視点や手立て

比較からの

Figjam

他者からの

フィードバック

振り返り

成果

様々な振り返りの
材料をつくることで、

振り返りの視点の充実

資料同士の比較から自分自身の
課題への気づき

課題

その他の成果

※資料※

実践課題案Ⅰ

児童生徒自らが学びの主体となるための「問い」を生み出す単元・授業づくり

Ⅰ 自ら問題発見・課題設定していくための「問い」を生むための工夫

→総合との複合単元としてスピーチテーマを設定

→既習の説明文等の学びから「話す聞く」との違いや共通点を探る

→日常的な1分間スピーチの取組

総合との教科横断的な学習

見通しをもった学習・課題意識が明確な学習に

他教科、他単元とのつながりの
価値

話題設定・情報収集・
内容の検討の時間確保
活動への意識付け

その他の課題
※資料※

- **説得力**を高めたい ← 「スピーチを成功させたい」が一番に……。練習（活動）不足 → 繰り返し試す場が必要
- スピーチへの**困り感** 点数化の満点設定の意識統一 モデルが満点
- 協働を生むための**場づくり** 今回なら物ごと・課題ごとのブースも
- **チェック項目**の検討 指導事項との対応

チェック3「内容」を「表現」にしていたら……。事実と感想と意見の区別を「構成」レベルで考えていたら……。

友達への意識
個人で高められること
協働で高められること

今後の部会で……

ICTの活用

- デジタルとアナログのバランス
子どもたちの学びの視点で よりよい学びにするためにデジタルのフィルターをかけながら、アナログのよさも考えつつ（ICTの活用は効果的か）
- 比較する材料を増やすことはできたが、その材料の使い方やより自分の学びを自覚する振り返りの意識のもたせ方や手立て

振り返り

研究の視点との関連 〈実践課題案Ⅱ〉

ICTの活用

実践課題案Ⅱ 創造性の発揮に寄与する「学びのつながり」を意識した単元・授業づくり

- I 資質・能力ベースで捉えた単元・授業の構成の工夫
→ **争本動画**を基にしたよりよいスピーチのイメージ
→ **チェックシート**を活用してスピーチの練習・実践
→ 振り返り・改善後に行う**再スピーチ**

意識

・チェックシートの作成

実践

・意識したことを実践する場

再実践

・改善する場

- II 身に付いた力の自覚を促す、評価の在り方の工夫
→ **チェックシート**を基にした**自己評価**と**他者評価**
→ 再スピーチの**自己評価**と**他者評価**
(同じグループメンバーで行うことで**変容**を捉えやすくする)

振り返り

ご清聴ありがとうございました

